

# データのミカタ： エネルギーと地球温暖化

2022年8月21日

IKOMAサマーセミナー2022

株式会社イー・コンザル 小川 祐貴

yuki.ogawa@e-konzal.co.jp



E KONZAL

生駒山上の2002年~2021年（20年間）で

年平均気温が12℃以上の年は  %

実際のデータ：  %

100点 -  と  の差 =  ① 点

(ヒント)

1981年~2001年（20年間）で年平均気温が平均気温12℃以上の年は

**8年 = 40%**

世界全体の年間人為的温室効果ガス排出量は1990年~2019年の間に

% 増加した

実際のデータ :

%

点 -

=

点

日本の温室効果ガス排出量のうち、エネルギー起源CO<sub>2</sub>は

% (2020年)

実際のデータ :

%

点

=

点

住宅用太陽光発電は、1年間に住宅で消費される電力の

% を発電している

(2020年度・全国平均)

実際のデータ :

%

点

=

点

電気自動車※1は燃費のよいハイブリッド車※2と比べると、

製造から廃車までに排出するCO<sub>2</sub>が  % 少ない

※1：リーフ（日産、蓄電池容量は40kWh）

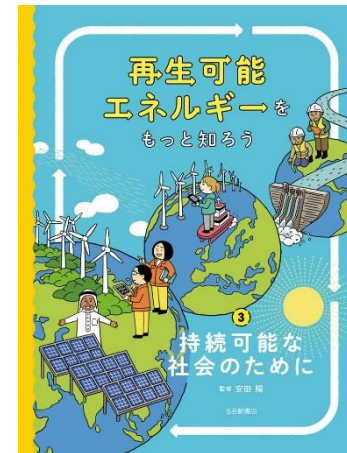
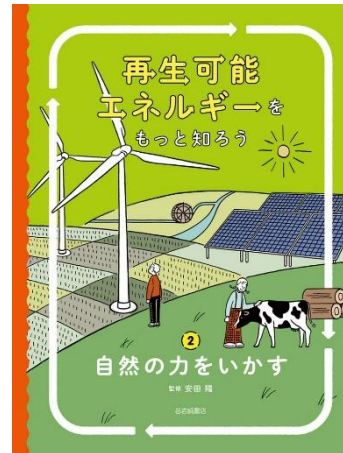
※2：プリウス（トヨタ）

実際のデータ：★5 %

$$\textcircled{4} \text{ 点} - \text{との差} = \textcircled{5} \text{ 点}$$

電気の消費によるCO<sub>2</sub>排出量：0.350kg-CO<sub>2</sub>/kWh（関西電力の平均値）  
 年間走行距離8,000km／10年で廃車  
 として計算

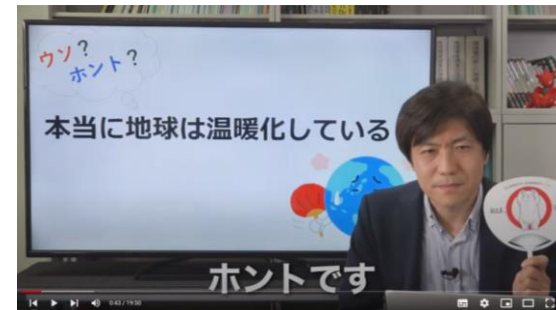
- 今日の資料：
- 再生可能エネルギーをもっと知ろう (1) (2) (3)



- ともだちに話したくなる！ 地球温暖化のリアル 圧縮版

(国立環境研究所動画チャンネルの再生リスト)

- 温暖化のホント
- 温暖化ってヤバいの？
- じゃあ、どうしたらいいの？



## ウェビナー「データに基づく地域の脱炭素化の進め方」

日時：2022年8月25日（木）13時00分～15時00分

開催形式：Zoom ウェビナー

参加費：無料



### 主な対象

- ・脱炭素化に向けた計画や施策を検討する自治体担当者
- ・地域での脱炭素化に向けた取り組みを検討・実施しようとしている事業者や市民

### プログラム（敬称略）

1. 「地域での脱炭素化におけるデータの重要性」（仮）田中信一郎（千葉商科大学）
2. 「データを活用した地域での脱炭素化の考え方」豊田陽介（気候ネットワーク）
3. 「地域で使える脱炭素シナリオ検討ツール」（仮）越智雄輝（E-konzal）
4. 「福知山市における脱炭素シナリオの検討事例」（仮）川手光春（京都府地球温暖化防止活動推進センター）
5. 「脱炭素化に向けた取り組み事例とデータ活用」吉森健人（オムロンソーシアルソリューションズ）
6. スピーカーによる質疑応答・ディスカッション